

事務事業名		小児インフルエンザ予防接種助成事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	01 安全安心な暮らしを支えるまちづくり			所属課	保健福祉課	担当	保健予防担当
	施策名	02 子育て支援の充実			課長名	星 育男	担当者名	斎藤 圭子
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		1	04	01	02			予防接種法
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成30 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <p>高齢者のインフルエンザについては、定期予防接種(B類)であるため、個人負担1,000円で助成してきた。小児期のインフルエンザの予防接種については、任意予防接種扱いとなるが、インフルエンザの地域でのまん延予防と重症化予防のため年1回1人2,000円を上限として助成する。ただし、生後6ヶ月から13歳未満までの者は年2回の接種が推奨されているため、年2回を上限として助成する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 本町に住民票があり接種時年齢が生後6ヶ月から18歳以下の者 助成金額 年度毎に1人2,000円を上限として助成する。(生後6ヶ月から13歳未満までは年度毎2回 計4,000円上限) <p>2 概算事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 生後6ヶ月から13歳未満 4,000円(1人あたり)×950名×35%=1,330,000円 13歳以上18歳以下 2,000円(1人あたり)×510名×40%= 408,000円 <p style="text-align: right;">≒1,752,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	インフルエンザ予防接種の助成	名称	単位
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	生後6ヶ月から18歳までの住民	ア インフルエンザの接種者数	人
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	インフルエンザのまん延防止	イ	
		名称	単位
		ア 生後6ヶ月から18歳までの住民	人
		イ	
		名称	単位
		ア インフルエンザの接種率	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	人			537	550	550
	イ	実績値	人					
対象指標	ア	目標値	人			1,460	1,450	1,430
	イ	実績値	人					
成果指標	ア	目標値	%			37	40	43
	イ	実績値	%					

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
	事業内訳	県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			1,752	1,800	1,800
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	1,752	1,800

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
	事業内訳	県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	インフルエンザの予防対策は行政が行うものであり、罹患時の子どもの負担の軽減と、子ども医療の支出がを抑制することは公共関与の妥当性を証明するためには十分な根拠である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	インフルエンザのまん延と重症化予防、子ども医療の抑制のためには、早急に取り組む必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	インフルエンザ助成に関する要綱を定め、1人2,000円の助成をしていく。(生後6ヶ月から13歳未満は2回4,000円上限) 乳幼児健診、医療機関、広報誌等で広く広報を行い、制度の周知を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	塩谷町に住民票のある対象年齢全てを対象とするため、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 30 年 2 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業